

様式 2

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2025 年 6 月 24 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所

〒 001-0006

北海道札幌市手稲区西宮の沢1-2-3-7

氏 名

一新電工 株式会社

(代表者名) 高橋一勝

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 の規定により、環境保全行動
第23条第3項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2024 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日					
事業 の 規 模	従業員数	7	人	原油換算した	10.4		k1
	使用床面積	55	m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	7	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC		
		27.4 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	
	非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃			
	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂		
報告書の担当部署		担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス					
計画書提出根拠		条例第13条(環境保全行動計画)				☐ 第1項 ☒ 第3項	
		条例第23条(自動車使用管理計画)				☐ 第1項 ☒ 第2項	
計画期間		2024 年 4 月 1 日 ~ 2027 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり					
備 考							

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 ☐ のある欄には、該当する ☐ 内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2024 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

【報告期間】

2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2024年度結果			2025年度結果			2026年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	5.05	5	4.73	6	○						
	t	%	t	%							
紙使用量の削減	44	5	16	64	○						
	kg	%	kg	%							
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	21.9	5	22.6	▲ 3	×						
	t	%	t	%							
		%		%							
		%		%							
		%		%							

- 注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
○：目標削減率を達成
△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	設定温度を下げた効果と、設備の更新による効果があった。
紙使用量の削減	○	前年度の買い貯めによる効果あった。
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	×	受注工事量の増加によって、稼働量が増えたため。